



池田町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界中で異常気象が頻発し、人間社会や自然環境に深刻な影響をもたらしています。気候変動の問題は、国際社会が団結して直ちに取り組むべき重要な課題です。

2015年に採択されたパリ協定では、「世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追求する」ことが長期目標として掲げられました。目標の達成には、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要があります。このことを実現するため、我が国では、2020年10月の内閣総理大臣所信表明において、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする（2050年カーボンニュートラル）、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言し、北海道でも、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取り組みを推進しています。

本町ではこれまで「池田町環境基本条例」を制定し、池田町環境基本計画や池田町地域新エネルギービジョン、池田町温室効果ガス排出抑制実行計画（事務事業編）に基づく取り組みを進めてきました。今般、2050年の脱炭素社会の実現を見据えた脱炭素シナリオとして「池田町再生可能エネルギー導入目標」を策定し、その目標に向けた全町一体的な実行計画として、「池田町温室効果ガス排出抑制実行計画（区域施策編・事務事業編）」の策定に着手しています。

この機会を捉え、今後も、環境行政を着実に推進し、町、町民、事業者が協力し合い、環境への負荷の少ない資源循環型社会の実現と、人と自然が共生できる豊かな環境を保全し創造していくため、地球温暖化対策のさらなる推進に向けた決意として、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す「池田町ゼロカーボンシティ」をここに宣言します。

令和6年6月13日

池田町長 安井美穂